

教科	音楽	単元名	ポピュラー音楽
----	----	-----	---------

## 本時のねらい

・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、相手に曲想や音楽のよさを自分の言葉で伝えることができる。

## 本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

・ロイロノートの比較機能を使うことで、グループのスライドを比べながらプレゼンテーションを聞くことができる。  
・共有ノートを活用し、グループで1つのシンキングツールを共有することで、生徒同士でプレゼンテーション資料を分析し合うことができる。

## 活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・iPad    ・ロイロノート（共有ノート）    ・テレビモニター

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (5分)	・プレゼンテーションの準備（グループでの発表順を決める、ロイロノートの提出箱の共有、ワークシートの配付）	
展開 (38分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループに分かれて、自分の好きな曲についてプレゼンテーションをし合い、聞き合う。</li> <li>・仲間の発表から気づいたことをワークシートにまとめる。</li> <li>・グループごとに用意された座標軸（シンキングツール）を使って、4つの観点について、お互いのプレゼンテーションの良さを分析する。 ●音楽的要素 ●曲への愛 ●考えや意見 ●資料の見やすさ</li> <li>・仲間のアドバイスを聞いたり、良かった点を話し合ったりして、自分のプレゼンテーション資料について再度、考察する。</li> <li>・訂正して再提出する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までにロイロノートで作成したプレゼンテーション資料を使って発表する。</li> <li>・ロイロノートの比較機能を使うことで、グループのスライドを比べながら聞くことができる。</li> <li>・ロイロノートの共有ノートを活用し、グループで1つのシンキングツールを共有することで、生徒同士でプレゼンテーション資料を分析し合うことができる。</li> </ul>
まとめ (7分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに仲間からのアドバイスや、自分の表現に足りなかったことをまとめる。</li> <li>・ふり返りをまとめる。</li> </ul>	

## 1人1台端末を活用した活動の様子



ロイロノートで作成したスライドを見せながら、好きな曲をプレゼンしている場面。



グループでお互いのプレゼンの良さを分析している場面。



それぞれプレゼンや分析をふり返りながら、まとめプリントを仕上げている場面。

## 児童生徒の反応や変容

「もう少し音楽的要素についてふれることが必要」や「歌詞についてもう少しふれてもいいと思った」等、友達から具体的にアドバイスをもらったことで、より良いプレゼンテーション資料にしようという意欲が高まった。また、「発表された曲をお互いが知っていても、その人とは感じ方や捉え方が違っておもしろかった」という感想もあり、生徒それぞれが曲の様々な捉え方に気づく様子が見られた。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

ロイロノートの共有ノートを使うことで、協働して1枚のカードに書き込みし合うことができた。共有ノート機能に慣れておらず、戸惑うグループも見られたが、相互分析ができたおかげで、自分のプレゼンテーション資料を客観的に捉えて改善する生徒もいた。これからも、生徒同士が意見を出し合いながら、ともに学びを深め合える授業づくりをしていきたい。